

## 整備事業評価書(強い農業づくり交付金)

(都道府県名:神奈川県)

政策目的	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が事業 実施主体 へ改善指 導を必要と した地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化								
食品流通の合理化	2	0	2	312.0	0	無	<p>卸売市場施設整備を実施した2地区において、成果目標を達成することが出来た。</p> <p>横浜市： 成果目標(集荷力の向上)については、1日あたり平均取扱頭数が、平成21年度は73頭、22年度は69頭と目標値を大幅に超えている。23年度以降は東日本大震災の影響により平均取扱頭数が前年度より減少したが、25年度は54頭と目標値となっており、成果目標を達成している。</p> <p>川崎市： 成果目標Ⅰ(物品評価の改善)については、平成23・24・25年連続で目標値を大幅に超えており、成果目標を十分に達成している。 成果目標Ⅱ(物流コストの削減)においては、平成24・25年連続で目標値を超えており、成果目標を達成している。</p>	全ての成果目標について目標が達成されており、十分な事業効果が認められる。

- (注) 1. 「成果目標の平均達成率」欄は、別紙様式2に記載された率について確認の上、転記する  
 2. 「都道府県による総合所見」欄は別紙様式2に記載された内容を確認の上、転記する

II 食品流通の合理化を目的とする取組用（平成19～20年度実施事業）

市町村名	市場名	事業実施主体名	取組の分類	メニュー	成果目標の具体的な内容	成果目標Ⅰ								成果目標の具体的な実績	メニュー	成果目標の具体的な内容	成果目標Ⅱ					事業内容 (施設区分、構造、規模等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
						事業実施後の状況											事業実施後の状況							交付金	都道府県	市町村費	その他				
						計画時 (平成17年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	4年後 (平成24年)	5年後 (平成25年)	目標値 (平成25年)	達成率				計画時 (平成△年)	1年後 (平成□年)	2年後 (平成◇年)	3年後 (平成○年)	目標値 (平成○年)										
横浜市	横浜中央卸売市場肉市場	横浜市	卸売市場施設整備の推進	効率的な市場流通	集荷力の向上(目標年度における取扱頭数が推計値を5.88%超過)	平均取扱頭数(牛) 51頭/1日 (平成17年度)	平均取扱頭数(牛) 73頭/1日 (平成21年度)	平均取扱頭数(牛) 69頭/1日 (平成22年度)	平均取扱頭数(牛) 59頭/1日 (平成23年度)	平均取扱頭数(牛) 55頭/1日 (平成24年度)	平均取扱頭数(牛) 54頭/1日 (平成25年度)	平均取扱頭数(牛) 54頭/1日 (平成25年度)	目標値の100%	平成21～25年度の1日あたり平均取扱頭数は、目標値の54頭と同等か、上回って推移している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	1,315,174,150	396,677,000	0	918,497,150	0	H21.3.31	大動物解体室解体ラインをオンライン方式に改良したことにより、衛生管理や作業効率が向上し、平均25年度の平均取扱頭数は54頭となり、計画時の目標値を達成した。	成果目標(集荷力の向上)については、平成21～24年度の1日あたり平均取扱頭数は目標値の54頭を上回って推移し、25年度は54頭となり、目標値を達成している。			

2. 整備事業

II 食品流通の合理化を目的とする取組用（平成23年度実施事業）

市町村名	市地名	事業実施主体名	取組の分類	メニュー	成果目標Ⅰ						成果目標の具体的な実績	メニュー	成果目標Ⅱ						事業内容（施設区分、構造、規模等）	事業費（円）	負担区分（円）				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
					事業実施後の状況								事業実施後の状況								交付金	都道府県費	市町村費	その他					
					計画時（平成22年）	1年後（平成23年）	2年後（平成24年）	3年後（平成25年）	目標値（平成25年）	達成率			計画時（平成22年）	1年後（平成23年）	2年後（平成24年）	3年後（平成25年）	目標値（平成25年）	達成率											
川崎市	川崎市	川崎市	卸売市場施設整備の推進	安全・安心な市場流通	物品評価の改善（全国を100とした場合、当市場の卸売単価が施設整備前の値を43%以上超過）	全国を100とする指数値に対し75.8（平成20年度）	全国を100とする指数値に対し90.3（平成23年度）	全国を100とする指数値に対し96.2（平成24年度）	全国を100とする指数値に対し92.7（平成25年度）	全国を100とする指数値に対し78.2（平成25年度）	704.2%	取扱数量及び取扱金額ともに減少しているが、加工品等の卸売単価が増となったことから卸売単価が16.9ポイント増となった。	物流コストの削減（施設）の管理コストを14.2%以上削減	平成20年度現状管理費を100とする	平成20年度現状管理費を100とした場合80.2%（19.8%削減）	平成20年度現状管理費を100とした場合71.6%（28.4%削減）	平成20年度現状管理費を100とした場合81.3%（18.7%削減）	85.8%（14.2%の削減）	131.7%（計画時の現状管理費の81.3%）	計画時と比較して電力使用料は18.7%の減となった。	41,993,595	16,797,000	0	25,196,595	0	H22.11.19	(1) 成果目標Ⅰにおいては、適正な温度管理が可能な施設の整備により卸売単価が16.9ポイントの増となった。 (2) 成果目標Ⅱにおいては、電力使用料は、目標値の14.2%に対して18.7%と、131.7%の達成率となっており、施設改修による効果が出ている。	(1) 成果目標Ⅰ（物品評価の改善）については、平成23・24・25年連続で目標値を大幅に超えており、成果目標を十分に達成している。 (2) 成果目標Ⅱ（物流コストの削減）においては、平成24・25年連続で目標値を超えており、成果目標を達成している。	

都道府県平均達成率 312.0%	総合所見 卸売市場施設整備を実施した2地区において、成果目標を達成することが出来た。 横浜市：成果目標（集荷力の向上）については、1日あたり平均取扱頭数が、平成21年度は73頭、22年度は69頭と目標値を大幅に超えている。23年度以降は東日本大震災の影響により平均取扱頭数が前年度より減少したが、25年度は54頭と目標値となっており、成果目標を達成している。 川崎市：成果目標Ⅰ（物品評価の改善）については、平成23・24・25年連続で目標値を大幅に超えており、成果目標を十分に達成している。 成果目標Ⅱ（物流コストの削減）においては、平成24・25年連続で目標値を超えており、成果目標を達成している。
---------------------	---